

Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30 ~ 13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911
 会長 / 新納哲雄 幹事 / 小谷維夫 会報 / 永島清孝 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数75名 出席数 50名 欠席数 21名

出席免除会員 4名(荒川(雄)君、伊藤(敬)君、村上君、田中君)

出席率 70.42%

前回補正出席率 7/4 78.87% 6/27 90.27%

欠席者

足立君、藤尾君、深田君、秦野(愛)君、秦野(一)君、岩崎(稔)君、河井君、木美君、小土井君、前田君、宮本君、村上(博)君、長棟君、野津君、尾沢君、田村君、寺崎君、内田君、吉岡君、吉野君、安井君

ビジター

坂口千加広君、多羅尾整治君(米子南)

メーカー

小土井君(7/11岡山旭川)

今週のお祝い

本人誕生祝: 3日江原保君、11日高橋孝之君、25日木下博夫君、26日井上雄介君

スマイルBOX 83,000円 (累計257,000円)

理事退任: 種田君、永見君、杉原君、理事就任: 江原君、過ぎも炉君、種田君、杉原君、西村君、佐田山君、リーダー就任: 前畑君、野坂(裕)君、北沢君、

出席100%: 杉原君、本人誕生祝: 高橋君、井上(雄)君、木下君、地区大会お世話になりました: 松本(正)君、ガバナー事務所閉鎖: 野津君、何時も休んですみません。今年こそは出席: 前畑君、音楽熟成松江大会を開催。野坂さん、勝部さん柳谷さんご来場頂きありがとうございました: 杉原君

会長挨拶

先週は私にとって記念すべき第一回の例会にガバナーの公式訪問がありました。ばたばたしていて気がついたら汗びっしょりかいていました。会員の皆様には大変お世話になりながら当日はお礼を言う余裕もなく失礼しました。遅くなりましたが改めて本日お礼を申し上げます。ありがとうございました。なお、ご心配いただきました森下ガバナーには分かち合いの広い心で対応していただき今年度の米子東ロータリーの活躍を期待しているといわれ、大変うれしく思いました。

七月六日金曜日公会堂で佐田山会員の娘さん佐田山千恵さんとキム・サンゴンさんとのデュオコンサートというのがありまして、二人の素晴らしい声量にしばし圧倒されました。

幹事報告

1. 会員増強・R財団合同セミナーのご案内
9月2日(日) 10:30 ~ 倉敷アビエスクエア

2. 地区大会のご案内
10月27日(土)・28日(日)

本会議 きびじアリーナにて

3. トライアスロン皆生大会募金のお願い

4. IM報告書が届いております。

5. 例会変更通知

境港RC 7月31日(火) 夜間例会
8月7日(火) 休会

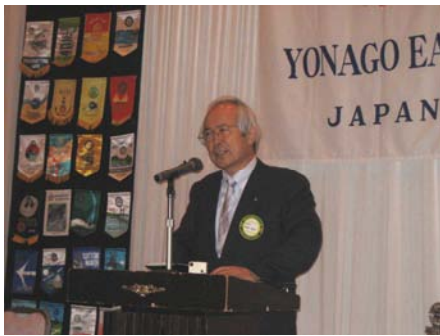
ビジター受付は7/31のみ

松江しんじ湖RC 7月24日(火) 7/23G訪問
8月7日(火) 8/8(水)4RC合同例会
ビジター受付あり



ROTARY SHARES 〇〇〇〇は分かち合いの心

プログラム



「新年度会長方針について」 会長 新納 哲雄 君

本年度のRI会長のテーマは“ロータリーシェアーズ：ロータリーは分かち合いの心”であります。超我の奉仕を実践すればこそロータリーに分かち合いの心が生まれるのです。1. 当クラブは新年度大きな事業が二つあります。1) 第2690地区第1・2グループのIM。来年4月13日(日)米子コンベンションセンター、実行委員長種田会員。2) 40周年記念事業。上森実行委員長のもと来年5月21日(水)、ホテルサルト。2. 小さな親切・小さな勇気・大きな分かち合いの心を持って活動しましょう。3. CLP体制を大いに活用し、また利用して元気なクラブになるように努める。4. 楽しい例会運営で、親睦と出席率の向上に努める。卓話は会員卓話を増やしより身近な関心の多いものにする。5. 常に財源に注意し健全化の方針案を作りの実施。
重点項目：1. 職業倫理向上に向けて会員同士お互いに考えていく。会員同士理解できるように、会員全員が“ロータリーの思い”を週報に掲載し、冊子にまとめる。2. 新年度は出席率向上を目指して目標はホームクラブ出席率75%、補正出席率90%。会員数は今年度は最低一名純増を目標といたしましたが、会員増強退会防止委員会のリーダーによりますと40周年に向けて会員80名の大台に乗せると力強い宣言をしていただきました。3. R財団の寄付：目標一人140ドルを目標としております。

ロータリーへの想い

「真実か どうか」

赤木 勇夫 君

ロータリー暦7年を振り返り、ロータリアンとしての使命から程遠い自分自身を反省し、思いつくままの雑感としたい。『信を万事の本と為す』これは我が企業グループの創始者が100年前に掲げた経営理念で、今も連綿と継承している。人と人との関わりの中で信頼が全てである事を説いた漢詩の一節を引用したもので、健全な企業活動を営むうえでの根幹を示している。これは性善説を前提とした信頼の構築であり、私自身も座右の銘として心に刻んでいる。しかし昨今の世情を見れば、安全・安心を脅かす人命の軽視や、将来への不安を与えるような不祥事が続発し、随所に不信が噴出している。この続発する不祥事をきっかけに、性悪説を前提とした法令

至らぬ会長で今年度は特に皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



「ロータリーの友紹介」 雑誌リーダー 北沢薫君

【横書き】 P5//2007 - 08年度のテーマ「ロータリーは分かち合いの心」はごく自然な選択で、常日ごろロータリーの真髄は分かち合いにあると感じていたからです。イエス・イエス・イエスの各々は、そのアイデアをプロジェクトにする。自分の技能や時間、資源をクラブや私の援助を必要とする人々と分かち合う。クラブに新会員を入会させることでロータリーを分かち合う。ということを示します。 P6//ウィルキンソン・ウェイ：(入会のごころ)1962年、初めてのクラブ例会に出席したときウィルフは自分と全く同じ理想を抱く人々のグループに入れることはとても幸運だと気づいた。息子によれば彼の哲学は「人に多くを与えれば、そこから得るものもまた大きい。」であり、四つのテストは「父が心から信じていること。」である。 P7// (転機)1982年、クラブ例会で医師が泣いている赤ちゃんを腕に抱きながらワクチン接種を行っている姿を目にし、「あれで人生が変わった。おびただしいほどのニーズがあることを知り、そのニーズを解決するために現地のロータリアンが身を捧げている姿を見た。」 P11// (一年に一人の会員)ウィルフは一人の人間、一人のロータリアンが世界を変える力を持っていると固く信じている。

の見直しや、内部統制システムの義務化等、その防止策の歴史は、欲に駆られた者達による不正との繰り返しの歴史でもある。誠に寂しい限りである。貧しくも互いを信じて支えあう若い夫婦が夫々に贈り物を考える。妻は自慢の長い髪を切って売り、夫が大切にしている金時計の鎖を買う。ところが夫はその大切な時計を売って妻のためにベッ甲のくしを買う。O・ヘンリがつづった短編「賢者の贈り物」の聖夜を巡るせつない物語である。社会を構成する最小単位の組織である家族へ寄せる思いに、ポール・ハリスが実践し続けた「超我の奉仕」の原点を見出したような気がして心が洗われた。これからも「真実か どうか」を、常に自分の心に問い続けたいと思う。ロータリーの思いやりに感謝」。

次回プログラム

7月18日 「新年度運営方針について」
副会長 杉原弘一郎君、幹事 小谷維夫君

7月25日 納涼夜間例会 (大山ロイヤルホテル)
8月1日 「新年度運営方針について」
クラブ管理運営理事 江原 保君
「ロータリーの友紹介」 橋谷伊佐夫君